

あれこれファレンス



ミニ図書館だより【なんでも質問箱】

No. 194

平成26年10月1日
熊本県立図書館発行

“レファレンスサービス”ってなに？

図書館で所蔵しているたくさんの資料を活用して、皆さんが調査したい内容をより早く正確に調べられるようお手伝いするサービスのことです。

この「あれこれファレンス」では、過去に受けたさまざまなレファレンスの中から、いくつかの興味深い事例をピックアップして紹介します。へえ～こんな質問も図書館で分かるのか！と、楽しめること間違いなしです。

Q. おたずね

「さよならだけが人生だ」とよく聞きますが、そもそもは誰が言った言葉なんですか？



A. こたえ

中国唐代の詩人于武陵（うぶりょう）の漢詩「勸酒」の一節を、井伏鱒二が邦訳したものが一人歩きしているようです。

「勸酒」 勸君金屈卮／満酌不須辭／花發多風雨／人生足別離

この最後の「人生別離足る」を“「サヨナラ」ダケガ人生ダ”と訳したのです。

この詩を訳す際に、井伏はかつて訪れた因島で林芙美子が言った「人生は左様ならだらけね」というセリフを意識していた、と書き残しています。また、太宰治の未完の絶筆となった小説『グッド・バイ』も、この訳に大いに感銘を受けて書かれているようです。『グッド・バイ』の「作者の言葉」として、太宰は小説の師である井伏のこの訳文をあげ、「まことに、相逢つた時のよこびは、つかの間に消えるものだけれども、別離の傷心は深く、私たちは常に惜別の情の中に生きていくといつても過言ではあるまい。」と記しています。

他にもいろんな方がこの漢詩を和訳していますので、比べてみるのも楽しいですね。

《参考文献》

- 0116636846 『井伏鱒二全集 第五巻』 p215、p632
- 0116762758 『井伏鱒二全集 第二十巻』 p324
- 0119564482 『漢詩の名作集 下』 p59
- 0114343007 『定本太宰治全集 9』 p400
- 0118211903 『「サヨナラ」ダケガ人生力』 p94-95
- 0118492776 『画本厄除け詩集』
- 0115258741 『朝日評論』 昭和23年7月号 附1p



おといあわせ 熊本県立図書館

〒862-8612 熊本市中央区出水2-5-1

TEL:096-384-5000 FAX:096-385-4214 Email:toshokan@pref.kumamoto.lg.jp